**2004 年 12 月 10 日**

**司書資格科目担当教員　　殿**

LIPER 研究代表者　　上田修一　(慶應義塾大学)
LIPER 図書館情報学教育班　三輪眞木子(メディア教育開発センター)
村主朋英(愛知淑徳大学)
竹内比呂也(千葉大学)
吉田右子(筑波大学)
辻慶太(国立情報学研究所)
柴田正美(帝塚山大学)

**LIPER 図書館情報学教育アンケート調査ご協力のお願い**

拝啓

時下ますますご清栄のほど、お慶び申し上げます。

さて、私どもは、平成 15 年度より 3 年間をかけて、「情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究 LIPER（Library and Information Professions and Education Renewal)」に取り組んでおります。この研究プロジェクトは、科学研究費補助金（基盤研究(A)）の枠組みで、図書館情報学教育班、公共図書館班、大学図書館班、学校図書館班の４つの実態調査グループと、横断的研究を担当する個人またはグループにより実施しております。

図書館情報学教育班では、わが国の情報専門職教育の実態把握を目指して、平成 15 年度は、司書課程および司書教諭課程を開設する 16 大学を対象に、インタビューと資料分析を併用した実態調査を進めてまいりました。平成 16 年度は実態調査結果を踏まえ、司書課程および司書講習において教育を担当されている方たちを対象にアンケート調査を実施する運びとなりました。本アンケート調査の送付先選定にあたっては、各大学の司書課程および司書講習の担当者名簿、日本図書館情報学会名簿、三田図書館・情報学会名簿、情報メディア学会名簿等を参照しました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、別紙アンケート票に必要事項をご記入の上、2005 年 1 月 10 日（月）までにご返送ください。なお、アンケート票にご記入いただいた内容は、統計処理による集計をいたしますので、大学名や回答者のお名前や回答内容が公表されることはありません。

アンケート調査の趣旨ならびに内容についてご不明の点があれば、電子メールまたはファックスにて下記担当者に随時お問い合わせください。この調査は、日本の情報専門職教育の将来計画の基礎資料となる貴重な実態調査ですので、ぜひご協力くださるようお願い申し上げます。

敬具

LIPER 図書館情報学教育班代表　三輪眞木子
〒261-0014　千葉市美浜区若葉２－１２
独立行政法人　メディア教育開発センター
研究開発部　教授
ファックス：０４３－２９８－３４８７
電子メール：miwamaki@nime.ac.jp

＊　本調査の回収業務は(株) マーケティングスペース花傳舎に委託しております。ご回答は同封の返信用封筒にてご返送いただきますようよろしくお願いいたします。（切手は不要です）

# 図書館情報学教育に関するアンケート調査

**Ⅰ　あなたご自身のことについて，お尋ねします．とくに注記がない限り，選択肢のどれか一つに〇をお付けください．また，（　　）には，具体的にご記入下さい．**

(1) 性別　　1.　女　　2. 男

(2) 年齢　　1.　20 歳代　　2.　30 歳代　　3.　40 歳代　　4.　50 歳代　　5.　60 歳以上

(3)　以下の司書課程科目のうち，あなたが担当されている科目の「担当科目」欄に〇を付けてください．なお，科目名を変更して開講されている場合は，対応する省令科目名の右にある担当科目名欄に，開設大学等における科目名を記載してください．なお，省令科目以外の科目を司書資格科目として開設している場合は，項目 18，19，20 の担当科目名の欄に記入してください（複数回答可）．

| 項目 | 担当科目 | 省令科目名 | 担当科目名（省令科目名と異なる場合） |
|---|---|---|---|
| 1 | | 生涯学習概論 | |
| 2 | | 図書館概論 | |
| 3 | | 図書館経営論 | |
| 4 | | 図書館サービス論 | |
| 5 | | 情報サービス概説 | |
| 6 | | レファレンスサービス演習 | |
| 7 | | 図書館資料論 | |
| 8 | | 専門資料論 | |
| 9 | | 資料組織概説 | |
| 10 | | 資料組織演習 | |
| 11 | | 情報検索演習 | |
| 12 | | 児童サービス論 | |
| 13 | | 図書及び図書館史 | |
| 14 | | 資料特論 | |
| 15 | | 情報機器論 | |
| 16 | | コミュニケーション論 | |
| 17 | | 図書館特論 | |
| 18 | | [省令科目以外] | |
| 19 | | [省令科目以外] | |
| 20 | | [省令科目以外] | |

(4) 図書館情報学（司書課程・司書講習）担当教員としての通算勤務年数（非常勤講師を含む）

1. 5 年未満　　2. 5 年以上 10 年未満
3. 10 年以上 15 年未満　　4. 15 年以上 20 年未満
5. 20 年以上 30 年未満　　6. 30 年以上

(5) 本年度（2004 年度）に勤務されている機関についてお答えください.

a) 機関種別

(a-1) 専任としての勤務校

1. 私立　短期大学　　2. 公立　短期大学
3. 私立　四年制大学　　4. 公立　四年制大学
5. 国立　四年制大学　　6. なし
7. その他（　　）

(a-2) 非常勤としての勤務校（種別ごとの学校数もお答えください）

1. 私立　短期大学　（　　）校　　2. 公立　短期大学　（　　）校
3. 私立　四年制大学　（　　）校　　4. 公立　四年制大学　（　　）校
5. 国立　四年制大学　（　　）校　　6. なし
7. その他（　　）

b) 専任として勤務されている機関の課程種別（複数回答可）

1. 司書講習　　2. 司書課程
3. 専門課程（図書館情報学を専門とする学科・専攻・コース等）
4. 専門課程（図書館情報学以外を専門とする学科・専攻・コース等）
5. その他　（　　）

c) 専任として勤務されている機関の所在地（都道府県名でお答えください）

（　　）

(6) バックグラウンドについてお尋ねします.（複数回答可）

a) 情報専門職としての 1 年以上の実務経験(複数回答可)

1. 公共図書館　2. 大学図書館　3. 学校図書館　4. 専門図書館
5. 国立国会図書館　6. データベース制作機関　7. 代行検索機関
8. 実務経験なし　9. その他（　　）

b) 司書資格・司書教諭資格など，情報専門職に関わる資格の取得状況（複数回答可）

1. 司書資格　2. 司書教諭資格　3. 司書資格に相当する海外の資格（MLS など）
4. その他（　　）

c) 卒業・修了(単位取得退学を含む)した課程すべてと，各専攻分野（複数回答可）

1. 短期大学 （1. 図書館情報学 2. 教育学 3. 人文学系 4. 社会科学系 5. 自然科学系 6. 工学・技術系 7. その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）
2. 四年制大学 （1. 図書館情報学 2. 教育学 3. 人文学系 4. 社会科学系 5. 自然科学系 6. 工学・技術系 7. その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）
3. 大学院修士課程（前期博士課程）（1. 図書館情報学 2. 教育学 3. 人文学系 4. 社会科学系 5. 自然科学系 6. 工学・技術系 7. その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）
4. 大学院博士課程（後期博士課程）（1. 図書館情報学 2. 教育学 3. 人文学系 4. 社会科学系 5. 自然科学系 6. 工学・技術系 7. その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）
5. その他（ ）（1. 図書館情報学 2. 教育学 3. 人文学系 4. 社会科学系 5. 自然科学系 6. 工学・技術系 7. その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）

## Ⅱ 教育目標，および養成すべき人材に関する，あなたご自身のお考えをお尋ねします．

(1) 学部課程における教育目標についてお尋ねします．以下の選択肢には，図書館専門職にかかわる「職場についての知識」と「図書館専門職として必要なスキル」が含まれていますが，「とくに重視しているもの」には 1.に○を，「重視しているもの」には 2.に○を，「あまり重視していないもの」には 3.に○を付けてください．項目 8.および 9.には，選択肢以外の知識やスキルをご記入ください．

| | 1. とくに重視している | 2. 重視している | 3. あまり重視していない |
|---|---|---|---|
| 1. 図書館専門職として必要な高度な知識・技能を修得させる | 1. | 2. | 3. |
| 2. 図書館業務にすぐに役立つ基礎的な知識・技能を修得させる | 1. | 2. | 3. |
| 3. 図書館の業務に対する理解を深めさせる | 1. | 2. | 3. |
| 4. 情報機器や処理技術に関わる技能を修得させる | 1. | 2. | 3. |
| 5. 図書館以外の情報関連機関や部署で働く際に役立つ高度な情報管理技能を修得させる | 1. | 2. | 3. |
| 6. 図書館の利用方法を含む基礎的な情報リテラシーを修得させる | 1. | 2. | 3. |
| 7. 図書館情報学に関する学術的知識を修得させる | 1. | 2. | 3. |
| 8. | 1. | 2. | 3. |
| 9. | 1. | 2. | 3. |

(2) 以下, 1.～51.の項目について, 図書館員に必要な知識・技術としての重要度, 習得すべき場, 担当科目における扱いをお尋ねします．各々，**ひとつ**づつ○を付けてください.

| 設問カテゴリ | | 重要度（ひとつに○） | 習得の場 (ひとつに○) | 担当科目で (ひとつに○) |
|---|---|---|---|---|
| | | 1. とくに重要　2. 重要　3. あまり重要でない | 1. 主に教育機関で　2. 主に実務で | 1. 扱っている　2. 扱っていない |
| 図書館サービスに直接関わる知識・技術 | 1. 資料組織（目録・分類） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 2. レファレンスサービス | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 3. 資料選択・蔵書構築 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 4. 図書館資料（図書・雑誌・視聴覚資料など） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 5. 図書館協力・ネットワーク（相互貸借など） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 6. 貸出サービス | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 7. 情報検索 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 8. コミュニケーション能力 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 9. 情報リテラシー教育 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 10.図書館の自由 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 11.児童サービス | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 12.障害者サービス | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 13.多文化サービス | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 14.図書館関係法規・基準 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 15.図書館業務システムの運用・管理 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 16.図書館建築・設備・備品 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 17.広報活動 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 18.インターネット情報の組織化（リンク集など） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 19.資料保存・保護・製本 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 20.その他の図書館サービスに直接関わる知識・技術（具体的に）<br>［　　］<br>［　　］ | <br><br>1. 2. 3.<br>1. 2. 3. | <br><br>1. 2.<br>1. 2. | <br><br>1. 2.<br>1. 2. |
| 背景となる知識・技術 | 21.コンピュータ利用（操作・管理） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 22.インターネット利用（操作・管理） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 23.ホームページ作成（操作・管理） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 24.地方公共団体の行財政 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 25.経営管理（人事・組織・財務など） | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 26.社会教育・生涯学習 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 27.学校教育 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 28.発達心理学 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 29.社会調査・統計学 | 1. 2. 3. | 1. 2. | 1. 2. |
| | 30 その他の背景となる知識・技術(具体的に）<br>［　　］<br>［　　］ | | | |

| 設問カテゴリ | | 重要度（ひとつに○）<br>1. とくに重要　2. 重要　3. あまり重要でない | 習得の場（ひとつに○）<br>1. 主に教育機関で　2. 主に実務で | 担当科目で（ひとつに○）<br>1. 扱っている　2. 扱っていない |
|---|---|---|---|---|
| 図書館運営の背景となる知識・技術 | 31.著作権（知的財産権） | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 32.個人情報保護（プライバシー） | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 33.情報公開 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 34.知的自由・検閲 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 35.書誌学 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 36.出版流通 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 37.図書館史・メディア史 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 38.情報の経済学 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 39.ナレッジマネジメント | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 40.ビブリオメトリックス | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 41.接遇・司会 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 42.その他の図書館運営の背景となる知識・技術（具体的に）<br>［　　］ | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | ［　　］ | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| 図書館運営に必要な基礎教養的な知識 | 43.人文学分野の主題知識 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 44.社会科学分野の主題知識 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 45.自然科学分野の主題知識 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 46.特定の主題に限定されない広範な主題知識 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 47.外国語（英語） | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 48.外国語（英語以外） | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 49.情報探索・利用行動 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 50.コミュニケーション理論 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 51.認知心理学 | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | 52 その他の図書館運営に必要な基礎教養的な知識（具体的に）<br>［　　］ | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |
| | ［　　］ | 1.　2.　3. | 1.　2. | 1.　2. |

## Ⅲ　図書館情報学教育を取り巻く現状や問題について，あなたご自身の認識を伺います.

「その他・コメント」欄には，各設問カテゴリに関するご意見等を自由にお書きください.

| 設問カテゴリ | | 1. そう思う　2. どちらともいえない　3. そう思わない |
|---|---|---|
| 組織について | 1. 図書館情報学を専門とする専任教員数が不足している | 1.　2.　3. |
| | 2. 予算や定員等の理由で非常勤講師の起用が制限されている | 1.　2.　3. |
| | 3. 非常勤講師の候補を見つけることが困難である | 1.　2.　3. |
| | 4. 教員の事務負担が過大である | 1.　2.　3. |
| | 5. カリキュラムや将来計画を検討する機会が制約されている（たとえば担当教員が少ない，またはコミュニケーションを十分にとることができない等の原因から） | 1.　2.　3. |
| | 6. その他・コメント | |
| 学内の位置づけについて | 7. 大学全体では，司書の養成よりも資格による学生の吸引が重視されている | 1.　2.　3. |
| | 8. 他の資格課程に比べて権限や発言力が弱い | 1.　2.　3. |
| | 9. 他の資格課程との連携・調整が不十分である | 1.　2.　3. |
| | 10.学内で図書館情報学の学問としての存在意義が理解されていない | 1.　2.　3. |
| | 11.学内に情報科学やコミュニケーション等の教育機関があって競合している | 1.　2.　3. |
| | 12.その他・コメント | |
| 施設・設備・教育方法について | 13.情報機器設備のある教室（実習室等）の確保が困難である | 1.　2.　3. |
| | 14.プレゼンテーション設備（DVD，VTR，OHC/OHP，PC プロジェクタ等）の利用に制約がある | 1.　2.　3. |
| | 15.情報機器資源について困難がある（サーバーの確保など） | 1.　2.　3. |
| | 16.演習や指定図書等における学内の図書館の活用に制約や困難がある | 1.　2.　3. |
| | 17.演習用の教材資料が慢性的に不足している | 1.　2.　3. |
| | 18.図書館実習や図書館見学の受け入れ先を確保することが困難である | 1.　2.　3. |
| | 19.その他・コメント | |

| 設問カテゴリ | | 1. そう思う　2. どちらともいえない　3. そう思わない |
|---|---|---|
| 学生について | 20.受講学生数が多すぎる | 1.　2.　3. |
| | 21.資格取得以外の目的意識・意欲・関心の薄い学生が多い | 1.　2.　3. |
| | 22.就職先として公共図書館と学校図書館以外への関心が薄い | 1.　2.　3. |
| | 23.図書館以外の就職先（企業や官公庁・学校の一般事務等）を，図書館情報学（司書課程）の学習と無関係であると考える学生が多い | 1.　2.　3. |
| | 24.年々，基礎学力が低下している | 1.　2.　3. |
| | 25.その他・コメント | |
| 研究活動について | 26.担当科目の授業内容と自分の研究内容とが乖離している | 1.　2.　3. |
| | 27.担当科目数や事務処理の負担によって，研究活動が阻害されている | 1.　2.　3. |
| | 28.研究資料の確保が困難である | 1.　2.　3. |
| | 29.同じ分野の共同研究の相手の確保が困難である | 1.　2.　3. |
| | 30.学内での研究費の獲得が困難である | 1.　2.　3. |
| | 31.学会や研究への出席・参加が困難である | 1.　2.　3. |
| | 32.その他・コメント | |
| カリキュラムについて | 33.現行のカリキュラムは不十分である | 1.　2.　3. |
| | 34.上記 33.で「そう思う」と答えた方は，追加すべき教育内容を具体的にお書きください | |
| | 35.その他・コメント | |

**Ⅳ　本研究の一環として，司書課程の教員を対象とし，インターネットのコミュニティサイトなどを用いた情報交換や教材の共有システムの構築を計画しています．これが実現した場合に参加する意思はおありでしょうか．**

1. 参加する　2. 様子をみて参加する　3. 参加の意思はない　4. わからない
5. その他（　　）

※参加を希望される方は，上田修一（慶應義塾大学）ueda@slis.keio.ac.jp あるいは栗山正光（常磐大学）mtkuri@tokiwa.ac.jp　にご連絡下さい．

**Ⅴ　司書課程で学ぶ学生のうち実際に図書館員になることができる者はほとんどいないという現状をふまえて，日本の図書館情報学教育（司書課程を含む）のあり方について，あなたご自身の忌憚のないご意見をお聞かせください．**

以上で質問は終わりです．貴重なお時間を割いてご回答頂き，ご協力ありがとうございます．なお，ご回答について更にお伺いしたい場合に再度ご連絡を差し上げてもかまわなければ，以下の欄にお名前とご連絡先をご記入ください．

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ご連絡先電話番号＿＿＿＿－＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿＿

電子メールアドレス＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**LIPER 図書館情報学教育班**

情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究
LIPER（Library and Information Professions and Education Renewal)
261-0014　千葉市美浜区若葉２－１２
独立行政法人メディア教育開発センター　研究開発部
三輪研究室気付

**問合せ先**

・三輪眞木子　ファックス：043-298-3487
電子メール：miwamaki@nime.ac.jp
・吉田右子　ファックス：029-859-1380
電子メール：yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp